


【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	11			シート作成者		-		-	
事務事業名	投票環境の整備・改善及び開票事務の効率化			事務区分	法定受託事務・自治事務		部課かい名	選挙管理委員会事務局	
事業の目的	有権者の利便性向上のため、期日前投票所の増設や投票区の再編を行う。また、開票事務の改善を行う。			事業の目標	有権者の利便性向上のため、期日前投票所増設や投票区の見直しを行う。開票事務の効力判定など正確な開票事務の改善を行う。				
事業の概要	有権者の利便性向上のため、期日前投票所増設や投票区の見直しを行う。また、開票事務の効力判定など正確な開票事務の改善を行う。								
対象	有権者			事業の性質区分	定例・定型		業務計画	■	
指標	投票区の変更・増設数又は期日前投票所の増設数								
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)			
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
1箇所	2箇所	1箇所		1箇所		1箇所			
事業費	実施計画事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください			
	予算額	-	0	0	0				
	決算額	0	0						
	執行率								
	従事者数	0.75	0.4						
	職員	0.75	0.4						
	臨時・非常勤等								
財源内訳	特定財源	国庫支出金							
	地方債	県支出金							
	その他	地方債							
	一般財源	その他							

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>投票区における有権者の利便性や高齢者や障害者を考慮し、併せて投票事務の合理化を図る必要性がある。 期日前投票者が増加傾向にあり、利便性向上を図るため、期日前投票所を増設する必要がある。 有権者や報道機関から開票事務の正確性及び迅速性が求められている。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	<p>議会からの要望もあり、浜見平複合施設であるハマミーナに期日前投票所を増設するにあたり、関係部局と開設に向けて調整を行い、期日前投票システムや備品等の予算計上を行った。 投票区の再編として、投票区域の見直しを行い2箇所の再編を行った。</p>
事務効率	<p>期日前投票をする有権者が増加する中で利便性は図られたが、その分の経費や人件費が増加したことで、従事職員の配置に課題がある。</p>
<div style="text-align: center;">  </div>	
事業成果及び事務効率に対する評価	
<p><b>成果があがっているが、実施手法は効率的でない</b></p>	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率を上げる	<p>平成28年第24回参議院議員通常選挙からハマミーナまなびプラザ2階会議室において期日前投票所を増設する予定で、期日前投票システムや備品等を購入し、期日前投票所の告示を行う。この増設により、期日前投票所は合計4箇所となる。</p> <p>国や県も財政状況が厳しいことから、執行経費基準額では賅えない部分は一般財源の持ち出しも見込まれ、期日前投票所の増設については一定の役割が果たせたため、新たな増設はせずに、「共通投票所」の制度が創設されたことから、その設置について調査・研究をし、有権者の利便性の向上と経費の節減を図る。</p>

#### 4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]